昭和47年10月5日

山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
電話 1番・〒754—12
印刷 阿知須砂郷よしの印刷

広報あじす

No.251

町の住民登録人口
（47年9月30日現在） 前月比
世帯 2,016世帯 ＋10
人口 8.076人 ＋26
（男3.819人 女4.257人）
（国勢調査昭和45年10月1日）
世帯 2.008世帯
人口 8.035人
（男3.730人 女4.305人）

秋・体力をつけましょう
健康はしあわせの第一歩

秋はたけなわ。スポーツ行事もあちこちでにぎわっています。町内の小中学校の運動会は終り、十日の「体育の日」は町内の球技大会が開かれます。九月の最終日曜日の二十四日には東条が区民の球技大会、旦が運動会を開くなどほほえましい話題のほっています。健康はしあわせの第一歩。この際、体力をつけて、健康な日々を送りたいものです。（写真は井関小で）

スポーツへの参加

最近はスポーツも・見るスポーツ・から・プレーするスポーツ・へと変っているようです。これまで人のやっているのを見て楽しんでいたのが、近ごろは自分も参加することにとどまらず各分野にすぐれた選手を出してきましたが、最近中学生でも二十分間ぐらい外で並んでいると顔を青くして席を離れるものがあるほどです。それだけにこのたび一人も倒れるものがいなかったというのは大きなよろこびとなっています。

◇・先月の吉敷郡体育大会では小郡、秋穂、阿知須の三町が対抗し、総合優勝しました。他の町はいずれも本町より人口が多く、これまでは小郡が常勝していたのですが、ことしは、六種目のうち本町が野球、柔道、陸上競技、女子バレーボールの四種目で一位となり総合優勝しました。

◇・本町の女子バレーボールは九月の県体育大会で燃優勝。吉野喜代博選手（砂郷一区・町役場勤務）は全国青年大会県予選で陸上千五百メートルで一位となりました。

◇・九月の阿知須中学校で開かれた近郷野球大会では阿知須クラブが野球、柔道、陸上競技、女子バレーボールの四種目で一位となり総合優勝しました。

◇・一学期の始業式で「倒れるものが一人もいなかった」と喜んでいるのが阿知須小学校の先生たち。去年の二学期には十数人が倒れたり、席を離れたのしました。ことしは水泳プールができ、夏休み中に身体を鍛えたのが効果があったのだろうといわれています。

◇・これまでは、あるいろいろ話題もふくめ、健康はしあわせの第一歩ということにとどめてみましょう。

共同募金はじまる
ことしは約二十七万円

赤い羽根でおなじみの共同募金が一日から始まりました。ことしの募金目標は約二十七万円で、昨年より二万円ばかりふえています。

募金期間は十二月までの三カ月間で、生活に恵まれない人や福祉施設に経済的な援助をしようというのがねらいです。

本町では街頭募金はしないで、町内会を通じ各家庭からの浄財をお願いしています。

集まったお金は県共同募金会におくられ、各市町村の生活保護家庭おさめ、各市町村の生活保護家庭福祉施設などに配分されます。

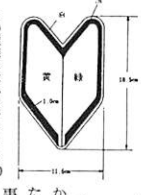
自動車に標識を
免許取得一年未満の人

運転免許をとって一年未満の人が運転する自動車には、十月一日から「初心運転者標識」＝カット参照＝をつけるようになりました。

これは、運転免許をとって間もない人に「自分はまだ運転がへただ」という自覚をもたせる一方、他の人は「事故のないよう初心者を守ってあげよう」というのがねらいです。

この標識は矢尻の形をしており緑色と黄色の二色がめだつようにしてあります。夜間でも反射するようになっており、車の右側面後にとりつけることになっています。

これをとりつけるのは義務とされ、違反者は二万円以下の罰金です。



安全運動中に三件
交通事故は昨年を越す

秋の交通安全運動は九月二十日から始まり、十月一日＝終りましたが、この期間中、本町での交通事故の発生状況はどうだったでしょうか。九月十日には昨年の年間事故発生件数（七十八件）と並びその後も九月末で八十七件にものぼり不名誉な記録を更新しています。

期間中の事故は三件。そのうち人身事故一件、物損二件でした。人身事故はゴルフ場付近の県道で十五日の二種。希望者には町消防災対策室でお世話します。

標識の料金は百二十円と二百六十五円の二種。希望者には町消防災対策室でお世話します。

「貯蓄の日」強調運動
県の指定を受け精神活動も

県教育委員会から本町が貯蓄推進の指定を受けました。＝今月九日から十七日までは「貯蓄の日」強調運動が進められますが、これに合わせて、推進員などきめて強く進めていく予定です。

貯蓄推進運動は単にお金を貯めるというのが目的ではなく、時間を有効に使う、生活を合理化する。積み立てられた保険金は、みなさんの生活を保障するばかりでなく、私たちの学校、住宅、道路、公園などの建設に融資されて、明るい町づくりにも大きく役立っています。くわしいことは郵便局にお尋ねください。

簡易保険で町づくり

郵政省では、あかるい生活設計のための簡易保険の加入をおすすめしています。

交通事故を思わぬ災害から生活を守るための簡易保険は、「郵便局の保険」として親しまれています。

これを機にお互が心掛けていきたいものです。

秋季交通事故相談
〝心配ごと〟に合わせて

町社会福祉協議会が一カ月おきに開いている・心配ごと相談・に合わせて今後、交通事故相談も行なうことになりました。十一月は十四日午前十時から午後三時まで役場で行なう予定です。

レントゲン検診
十一月八・九日

町では十一月八、九の両日、町内十八カ所で町民の無料レントゲン検診をおこないます。

今回は七月に行なったとき受けられなかった人が対象です。七月の検診は対象者二千四百三十人のうち一千八百九十人が受けられましたが、まだの人は一年に一度の検診を必ず受け、早期発見、早期治療につとめましょう。

無料で健康診査します
六十五歳以上の老人

老人の無料健康診査が、十月二十五日から二十八日までの四日間町内四カ所で行なわれます。対象は昭和四十七年四月一日現在＝六十五歳以上の老人です。

会場は次のとおり

25日（水）東条公民館
26日（木）阿知須小学校
27日（金）岩倉保育園
28日（土）井関小学校

時間はいずれも午後一時半から三時までとなっています。近くの会場にお出かけください。

四回目の妊婦学級
妊娠中でない人もどうぞ

町では、十一月の第三・四と、十二月の第一・二の毎週金曜日午前十時から正午まで役場で「妊婦学級」を開きます。

妊婦学級は今回で四回目。妊娠前の人に大変好評を受けており、受講者も回を増すごとに増えています。

健康な赤ちゃんを生み、心豊かな母親として・健全な子を育てるために、妊娠中でない人も「妊婦学級」へどうぞ。受講申込みは十月末日まで役場住民課へ。

講座は次のとおりです。

講義＝妊娠の生理衛生、妊婦の心得、お産の準備と経過

映画＝生まれる、妊婦体操（実技）

産後の家族計画

実習＝妊婦の栄養

身体の洗い方

児童扶養手当が増額されました
父のいない子の母へ

児童扶養手当の額が、十月から児童一人につき月額二千九百円であったものが四千三百円に引上げられます。また、二人以上の場合には、一人増すごとに四百円が加算されます。

児童扶養手当は、父のいない中学校三年までの児童を養なっておられるお母さんに支給されています。

しかし、受給者および配偶者の前年の所得が一定の限度額を超えるとき、または、ほかに公的年金を受けている場合は支給されません。

現在、本町で八名の該当者がおられますが、まだかなりおられると思います。受給資格がありそうだと思われたらぜひ・そく役場厚生課にお申出ください。

県が広報写真募る
〝人間尊重をテーマに〟

県では次のとおり山口県広報写真を募集しています。

▽題材＝人間尊重を主題として環境保全、自然保護、交通安全、社会福祉をとり扱ったもので、県内で撮影した写真▽規定＝単色、カラーともキャビネ版。組写真の場合は五枚以内。応募点数は制限なし。作品には撮影者の住所、氏名、年齢、職業、電話、題名と字数以内の説明を書いた応募票を作品にはりつけること▽送り先＝山口市麓町県広報課内▽締切りは十二月二十日。

通勤手当は六千円
非課税限度額を引上げ

九月一日の税法改正により通勤手当の非課税限度額が四月にさかのぼって月額六千円に引き上げられました。

なお、自転車などの通勤手当は片道十キロ未満は一千円、十キロ以上は千八百円です。それ以上は所得に合算されて課税されます。

今月は自動車税の納期

十月は自動車税（県税）後期分の納付月です。納期は十月十六日から十月三十一日までとなっています。県税事務所のほか銀行、信用金庫、農協、郵便局など指定金融機関でも納付できます。

海上保安大学校と保安学校校生を募集

海上保安大学校、海上保安学校では生徒を募集しています。

▽願書受付＝十月十六日～十一月二日

▽受験資格＝高等学校卒業程度の有資格者で、大学校は昭和二十七年四月二日以降生まれ。学校は昭和二十四年四月二日以降生まれの男子

▽試験＝一次＝十二月二・三日二次＝来年一月六・七日問い合わせは、返信用切手をはった封筒を保安部管理課へ。

死亡者が出たときの手続き

死亡者があったときの葬儀の手続きは役場厚生課に連絡ください。

現在、町は火葬場を業者に委託しており葬儀や火葬については町が直接、関与していません。

しかし、遺族などから業者に連絡してほしいと頼まれた場合は便宜をはかっています。つまり火葬・付は小郡の公益社に委託しており、それ以外の葬儀の祭壇、花輪、棺などは喪主がどの業者に頼まれてもよいわけです。

しかし、どこに頼んでよいか判らないという場合はその意志をくんで町が連絡をしてあげることにしています。

日曜、祭日などは当直員がおります。いつでもお申出ください。

なお火葬については認可申請があったとき町から火葬担当業者にすぐ連絡します。

死亡者があったときの手続きは死亡届、火葬認可申請、埋葬認可申請をその土地の市町村長に出さなければなりません。

善意はここに

愛媛県新浜市星越町十の六・野村竜一さん（寺河内区出身）は広報紙送料として一千円を町に。

お知らせ

10月の行事予定

10日 体育の日・町内親ぼく球技大会・婦人バレーボール大会（前8時～阿中グランド）
11日 乳児検診（後1時～3時）
12・13日 豚丹毒の予防接種
14日 献血（前9時～正午）
16日 種痘「生後6カ月～2歳未満」（後1時半～2時半）
17日 種痘「明春小学校入学児」（後1時半～2時・砂郷保育園・後2時10分～2時半・阿知須幼稚園）
18日 種痘「明春小学校入学児」（後1時半～2時・井小、後2時10分～2時半・岩倉保育園）
中旬 合同納骨塔慰霊祭

※種痘検診は接種1週間後に行ないます。

〔会場の記入のないものは役場〕

将棋の県代表になって

長尾　悟（岡）

○コマの動かし方は小学校六年のときおぼえましたが、本格的に雑誌をとってやり出したのは三十九年からです。当分の間は主に本で勉強しました。県の大会、つまり防長王将戦ではじめて優勝したのは四十二年です。これまで県優勝は三回しました。日本将棋連盟から「四段」を受けたのは去年の九月です。それでもプロには歯がたちません。

○社交ダンスですか、いゃあ結婚するまでのことです。県大会の優勝は二回です。タンゴとクイック・ステップの部でした。阿知須中学時代は卓球の選手でした。これらは同じことはかり三年もやっていたら、いやでも上達します。しかし将棋は攻める駒、守る駒、それらを組み合わせて何千何百という手ができます。それに相手の心を読み、過去の実戦を思い起し、定跡をたどる。そうしたことを組み合わせ、しかも、新しい手を求めて進んでいく。それはおもしろくもあるし、むずかしいものだと思っています。高校（山口高）では何もやっていません。

○一強くなる方法、私は「本を読む」ことだと思います。専門家の定跡は必ず参考になります。同一の手でなくても、それを参考にして、いろいろ応用できます。それに、考えながらさすこと。五局さすより、一局をじっくりさす方が効果があります。私は、専門家の定跡を切りとってはノートに貼りつけています。対局後、自分の棋譜もつけています。四十分くらいかけた試合だと五局ぐらい終ったあとでも憶えています。私の将棋はどちらかといえば「守って勝つ」型です。しかし、ここが勝負というときには果敢に進みます。これは、人生すべてにも通じるのではないでしょうか。

（十月二十二日の中国地区将棋大会に県代表として出場する、宇部ラクタム勤務、三十五歳）

音盤録

ギター合奏で県一位

中川　速子（岡田北）

○ギターをはじめたのは宇部中央高校のときからです。小学校のときオルガンを習ったのですが、先生からピアノを習うようにいわれたので、音楽からは遠ざかっていました。

○最初はクラブ活動だけでした。三年生になって個人教授につき、これまで三人の先生に習いました。三人目は小倉の先生だったため、毎週一回、二年間、小倉まで通いました。その先生がヨーロッパに留学されたので、いまは習っていません。

○学校を出て、すぐ県庁に勤めました。でも、山口にはギターを教えられる先生もおられないので、仕事が終ると宇部へ通いました。しかし、通うのが不便ですから一年半で県庁をやめ、宇部に変りました。今は楽器店に勤めています。楽器店なら音楽の勉強になるからです。

○練習は毎日、二時間ぐらい、家でしています。近所の人には大変ご迷惑をかけています。

○一人前の発表は学校のクラブ活動中でも稽古に通いました。好きなのです。ギターが……。

○人前での発表は学校の文化祭や町の文化祭などです。去年九州ギターコンクールに出場しましたが、予選で落ちました。出場順のクジを引いたら一番最初の演奏になったのです。アガってしまいました。それでも審査員は皆さきいだとほめてくださいました。山口県でのコンクールはことしが第一回です。個人で二位、会場は一位でした。合奏は高校のときのクラブの仲間と二人で組みました。まだまだ続けます。恋人はギター。あらンすみません。

（宇部市の音響堂勤務、二十三歳）

秋を求めて賑わう

新名所の果樹園にっ

秋はたけなわ。日曜日ごとにはよい天気が続いて、行楽地はどこも賑わっています。本町のゴルフ場近くにある宇部ゴルフ観光と宇部不動産の二つの果樹園は、栗拾いの客で賑わっています。

これらの果樹園には桃、梅、ブドウ、柿、栗などが数年育てられ実もたくさんなるようになりました。このため、多数の行楽客をもまかなうこともできるようになりました。ことしは宣伝も行き届いてか、客足がめだっているようです。

ブドウ狩りは九月で終り、いまは栗が最盛期。入園料百円、栗一キロ入り三百円（宇部不動産）入園料百円＝一キロ入りの袋贈呈（ゴルフ観光）といったところ。

これからも四季折り折りの味覚を求める人たちの新名所となることでしょう。

（写真はブドウ狩りの人々）

土地の境界をはっきり

「ノリ」は道路につきもの

一体、道路の幅はどこまでをいうのでしょう？……町では昨年から国土調査にもとずく地籍調査を進めていますが、この境についてなかなか理解いただけない人があるようです。

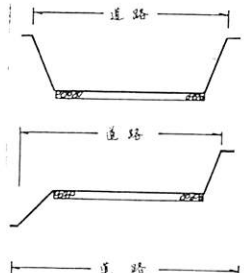
そこで、道路についての一般的な考え方を記してみましょう。

普通、法＝のり＝は土の土地のものだ」といわれます。段違いの土地があったとしたら、上と下の土地につくることもありますが、これは特異な例といえましょう）

○道路は普通、別図のようになっています。特に、国や県、市町村が改良する道路は法も道路用地として買収することになっています。このため、道路より高いところに土地があっても、その法は道路についているものです。

○道路のそばの溝や水路も、公共用地が普通です。個人が溝の上に家を建てたり、軒を出しているのは自分の境界より張り出していることが多いようです。

こうした公共用地との境界について判らない場合は役場総務課へお問合わせがいます。



今月のテーマ

食生活改善を

十月は生活改善普及月間です。私たちの食生活をふり返ってみますと、ことし八月に発表された国民栄養調査の結果では、熱量、蛋白質、脂肪、ビタミンCなどは基準を上回っていますが、カルシウム、ビタミンA、B_1、B_2など微量栄養素が不足しています。食品でいえば乳類、緑黄色野菜の取り方が少ないということです。しかし動物性食品や、油脂などは取りすぎが目立ちこのことが高血圧など成人病の要因となりつつあります。これからの食生活は、不足している栄養素を補うというだけでなく、バランスのとれた栄養をとるようつとめたいものです。

流感の予防も

寒さが増すと感冒にかかる人が多くなります。流行性のものだと学校や保育園、幼稚園など毎年のように閉鎖するところがあります。人ごみのところから帰ったら必ずうがいをするようにつとめましょう。また予防注射をして防ぐ方法もあります。大事に至らないよう日ごろから心掛けたいものです。

幼児も出演

ご老人も思わず拍手

ことしも町の敬老会が九月十五日阿知須中学校で開かれました。招待客は五百七十五人。そのうち六十七人。工藤助役のあいさつや子ども代表の福永紀晴君（引野・小一）江本和美さん（細南・小一）片山美智子さん（河内・中二）の老人におくることば、老人代表塩谷亀次さん（東区）の謝辞など熱心に観覧のお年寄り。

余興は昨年どおり婦人会、青年団自治会、遺族会、青年同志会が中心となり、幼児も含めての出演。プログラムは寸劇、踊り、浪曲など多彩で、観覧の老人も思わず笑ったり、拍手をしたり、二時間余りを楽しみました。

（写真は踊る幼児たち＝上＝と）

あって昼食、折詰の弁当に舌つづみをうちました。

このあと余興に移りましたが、余興は昨年どおり婦人会、青年団自治会、遺族会、青年同志会が中心となり、幼児も含めての出演。プログラムは寸劇、踊り、浪曲など多彩で、観覧の老人も思わず笑ったり、拍手をしたり、二時間余りを楽しみました。

（写真は踊る幼児たち＝上＝と）

慶弔録

出生（おすこやかに）

父　続柄　子　月日　部落

石田　貢　長男　憲之　9・4　神の原
國重信之　長女　恵美　8・29　恵迫
末広義和　長男　芳文　9・8　寺河内
川口政則　長女　則子　9・6　前山
松浦　宏　長男　智広　9・4　砂三
藤井治明　長男　敬明　9・9　南祝
小野　勲　長男　一敏　9・18　浜
宮重新次　弐女　聡子　9・14　浜
縄本雄二　弐男　英男　9・22　小西

婚因（おしあわせに）

田辺良夫　富士子（吉田）　福岡県嘉穂郡
家入克己　小野田市西高泊
和子（藤川）　岩上　東京都府中市
澄（重村）　貝北　東京都府中市
安田慎一
赤井明　茨子（杉山）　山口市鋳銭司
小林和明　飛石
茂木洋三　英子（古木）　下関市幡生本町
藤井治明　飛石
坪根純利　俊江（河野）　山口市中園町
宮尾智義　幸恵（兼重）　熊毛郡大和町
縄本雄二　杖川

死亡（ご冥福を祈ります）

氏名	死亡月日	年齢	部落
藤重　シゲ	9・16	67	貝北
藤永　キク	9・26	86	浜
藤田　快三	9・26	63	引野
中川キヨ子	9・27	62	貝北
平岩　ハル	9・29	71	砂二
田辺　松一	9・30	85	岩西

窓の役場

◆・健康な人、すぐれた人をめざしての行政。それが次第に芽吹いているかのように、各方面で活躍する人がふえています。人口約八千人の中でこうした人が育っていくことは本当にうれしいことです。

◆・火災、水害のとき電話がかかってきますが「火事です」「水が出そうです」といれるものの肝心の場所や模様をいわれない人が案外多いのです。それも女性が電話をされる場合は九割ぐらいはそんな状態です。急を要することですから長話はできませんが、自分の名前、場所、災害の模様など要点だけはは一つきり言って電話をおいていただくとしあわせます。消防車などの出動もそれに合わせて手配できるわけです。

◆・中尾町長が約一カ月の欧米視察の旅をおえて帰ってきました。海外からみた日本、福祉行政のあり方、そして地方自治の正しい進め方など得るところが多かったようです。今後、折りにふれ、みなさんにご報告する事に、今後の行政にそれを生かして行くことになりましょう。留守中、いろいろご心配かけました。

なお、旅行中は工藤靖夫助役が町長職務代理者となっていましたが、十月からその職務代理を解きました。

町民の場

文芸役

短歌

石田サダ子

カバンの中に売の上げの銭が音たつる酒いて帰る雨晴れし道
上重　朝子

風にあいし夏菊を友にわけ役立ちたる心嬉しも
度々の病院生活となりたる我を見舞い来し友の嬉しき
兼重　きぬ

祖みかけし家の柱の香りよく十五夜の月さし込みたけり
痛む足に電気かけつつ長き夜を天井に虫一つ動かすおり
正司ワメノ

孫の守や家事にと目々忙がしき妻の頃と白髪増え来ぬ
故郷の水害のあといたましく美田は白き砂に埋もる
庭木剪りあかるくなりし片隅に彼岸花の堅き淡きくれない
原田　双恵

すこやかに働くものと思い居し友また逝くを広報に見る
仏前にと屋敷まわりに咲く花をつぎつぎ姉は携え来る
藤永ミノ

岩の上に舞いおりたる白鷺の首をかしげて四方を見まわす
目野の里に立ちて在ませしお稚児様拝みて後にうぶ湯井戸見ぬ
部坂　秩子

レッスンの子らの帰りてがなしきに白き鍵盤丹念に拭く
豊かにて大き字きざ千東成の碑あり十八年ぶりの苦寄
松代　二郎

短歌会　二十一日午後七時半から西工会で。

公給領収証を受けましょう

県では十月一日から十月三十一日までを「公給領収証受領交付強調月間」としています。

みなさんが料理店、バー、旅館飲食店などを利用されますと、その経営者は、料金といっしょに料理飲食等消費税を県にかわって受取り、県に納めます。

これを円滑に行なうために公給領収証制度が採用されているのです。

つまり、公給領収証は、みなさんが確実に税金を県に納められたことを証明するものです。

料理飲食等消費税のあらまし

○ 料理屋（割烹） バー	料金の	10/100
○ 飲食店（一般食堂） 喫茶店	1人1回の料金が901円以上のとき	10/100
旅館の宿泊では	宿泊料金（1人1泊2食まで）が1,801円以上のときは、1,000円（基礎控除額）を控除した残額の	10/100
○ 指定食堂	1品の価格が451円以上のとき	10/100